

## 2022 年度第 4 回音環境運営員会議事録（案）

記録：河原塚透（幹事）

日時：2023 年3月2日（木）17:00～19:00

場所：Zoom を用いたリモート会議

出席者：坂本慎一（主査）、河原塚透（幹事）、平栗靖浩（幹事）、會田祐、池上雅之、石渡智秋、古賀貴士、  
佐久間哲哉、佐藤洋、杉江聡、辻村壮平、富来礼次、富田隆太、中川武彦、中澤真司、羽入敏樹（前主査）、  
平光厚雄、星和磨（敬称略）

欠席者：浜田幸雄（敬称略）

提出資料：

2022年度第4回議事次第

資料4-0 2022年度第3回音環境運営委員会議事録（案）

資料4-1 第4回環境工学本委員会資料

資料4-2 2023大会OS採否\_a. 音環境運営委員会

資料4-3 企画・広報WG・企画アンケート案\_20230301

資料4-4 2022年度小委員会活動成果報告

資料4-5 音環境運営委員会2023\_24

議題：

前回議事録（2022年度第3回）を確認し、承認された。（資料 No.4-0）

### 1) 環境工学本委員会の報告（資料 No.4-1）

- ・ 奨励賞選考委員会委員候補：平栗先生を推薦
- ・ 技術報告集委員会委員候補：森原先生を推薦
- ・ 2022年度竹中育英会応募：3月31日申請締切
- ・ 調査研究委員会活動報告：環境工学本委員会は現時点では催し物19回という情報のみ、主な活動、問題点は委員長が後日作成し、HPに掲載予定
- ・ 常置調査研究委員会の予算使途について：旅費が大学だけでなく企業職員へも支払えるようになった
- ・ 2023年度環境工学委員会予算配分：昨年度よりも環境工学全体の予算が縮小、音環境は配分額487,000円、前年度よりも-4,000円
- ・ 2023 年度日本建築学会技術部門設計競技：「カーボンニュートラル社会を実現する「新しい」環境建築コンセプト」募集中、提出期限5月23日（日）17時必着
- ・ 第35 回環境工学連合講演会：5月30日開催、テーマは「グリーンリカバリーと環境工学」
- ・ 2022年度日本建築学会大会（北海道）概要報告：参加者8,986名、音環境は他の部門と比べても各室78～107人と多くの参加があった。実現は難しいが対面となった場合に部屋のキャパを大きくしてもらえるよう要望は出し続ける必要あり。発表数は環境工学部門1,186題で例年並み
- ・ 2022年度大会若手優秀発表選考結果：審査対象と選考数の比率、音環境は有資格者28名、授与3名で10.7%、他部門も概略10%程度
- ・ DVD 版梗概集のオンライン化について：DVD読み込み装置を備えたモバイルPCが少なくなっているため、ホームページから梗概を直接ダウンロードする方式へ変更。DVD版は廃止
- ・ 2023年度大会講演プログラム編成方針：京都大学吉田キャンパスでの対面方式が決定、1題当たり一般講演は8分、OSは16分と従来の方式となる
- ・ 環境工学部門研究協議会：コロナ危機がもたらす建築環境工学の新たな展開。音環境からは佐久間先生、辻村先生が登壇予定
- ・ 2023年度大会若手優秀発表選考方法：音環境は従来通り、その他の運営委員会も概ね従来通り
- ・ 2023年度大会講演プログラム編成方法：直近2年間はプログラム編成をオンラインで行っており、その間に入力システムを整備したので、本年もそのシステムを使い運営委員会毎に入力する形式で行う、一堂に介しての編成会議は行わない予定。3月末にオンラインで具体的な打ち合わせ（新主査、新幹事2名出席）

- ・ AIJES総則改定について：第3回環境工学本委員会で審議（2022年11月7日）→意見はなかった。パブコメ終了（11月14日）→意見はなかった。事務局の最終確認・最終調整（2023年の1月下旬～2月一杯）、第4回環境工学本委員会で最終承認（2023年3月2日）。著作権関連の厳格化、環境基準作成小委員会の位置づけ明確化。
- ・ AIJES刊行方針検討WGからの依頼事項：持田WG主査より情報の伝達依頼があったため、本会議終了後池上WG委員よりメール配信予定
- ・ 催し物実施結果報告：チュートリアル「音環境の数値シミュレーション2022」第2回音環境問題への応用、2022年10月6日開催、85名の参加があり盛会であった
- ・ WG設置申請書：音環境運営委員会直属の新設WGとして「子供のための音環境WG」が承認された
- ・ 委嘱・解嘱の件：今回は期入れ替わりのため多くの委嘱・解嘱があった。音関連の運営委員会、小委員会、WGの委員追加、交代が承認された
- ・ 会員外の委員委嘱について：ヤマハの宮崎さんが室内音響小委員会の会員外委員として承認された
- ・ 環境工学本委員会委員長選挙：総数22で大岡先生が過半数を獲得し次期環境工学本委員会委員長に決定

## 2) 審議事項

- ・ 大会OS採否（資料 No.4-2）：音環境数値解析小委員会担当のOSに6件の応募があり、全て採用
- ・ 企画・広報WGでの実施が望ましい企画に関するアンケートのお願い（資料 No.4-3）：星企画・広報WG主査よりアンケートの趣旨やフォーム、依頼方法などの説明があり、アンケートを進めてもらうことが決定

## 3) 各小委員会・WGの2022年度成果報告、活動報告

### ① 固体音小委員会

- ・ 2022年度は5回開催、駆動点インピーダンス予測計算の整理、床衝撃音遮断性能の評価方法、2022年度大会のOSの内容について検討。自己評価はB。
- ・ 第4回を12月21日、第5回を3月23日に開催。インピーダンス予測比較検討など

### ② 集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会

- ・ 2022年度は3回開催。鉄道騒音の測定・評価手法の検討として聴感実験などを実施。自己評価はB。
- ・ 2月8日に開催、新しい委員を加えて活動を活性化させること、音環境に関する個人の属性を集合住宅の遮音性能水準に反映させるための検討など

### ③ 建築音響測定法小委員会

- ・ 2022年度は5回開催、音響エネルギー密度に関する実験結果などについて討議、大会および国際会議で発表など。自己評価はA。
- ・ 第3回を12月7日に開催、室内音場の新たな測定法の提案に向けた実験を行い、実験結果についての意見交換など、3月6日に第4回を開催予定

### ④ 室内音響小委員会

- ・ 2022年度は3回開催、一般空間の室内音環境向上を目指し、方策、具現化するためにWGを設置し活動。自己評価はB。
- ・ 第2回を1月22日に開催、子供のためのWG設置についての意見交換など、第3回を3月20日に開催予定

### ⑤ 音響数値解析小委員会

- ・ 2022年度は4回開催、「音環境の数値シミュレーション 一波動音響解析の技法と応用」第二版の刊行に関連した2回のチュートリアルをオンラインで実施など。自己評価はA。
- ・ 第3回を12月23日に開催、10月6日に実施した第2回チュートリアルの開催結果、来年度の大会OSについて討議、第4回を3月28日に開催予定。

### ⑥ 音環境規準検討小委員会

- ・ 2022年度は6回開催、集合住宅の音環境のAIJES刊行を目指し、集合住宅音環境AIJES検討WGを立ち上げて、具体的な内容の議論や公開意見交換会の実施など。自己評価はA。
- ・ 第5回を1月10日に開催、音環境のAIJESの整備ペースについて議論。第6回を3月9日に開催予定

## 4) 各他学会・研究会の予定

- ① 日本音響学会・建築音響研究会：3/9 一般、4/28 可聴化 ヤマハ本社（浜松）、5/25 未定

② 日本音響学会・騒音振動研究会：3/27 那覇、5/19 名城大

③ 日本騒音制御工学会23年春季研究発表会：4/20（OS:床衝撃音、不思議音、ノイズマップ）、秋季研究発表会11月（山梨大学）開催予定

**5) 次期体制について(資料 No.4-5)**

・ 2023年度委員会構成：次期主査は池上さん，幹事は佐藤先生と小柳さん

**6) その他**

・ 退任される幹事・委員から挨拶

**7) 次回以降の予定**

未定

以上